

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行

上場取引所 東 福

コード番号 8397 URL <http://www.okinawa-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 安里 昌利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長

(氏名) 花城 忠司

TEL 098-867-2141

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

(表示単位未満は切捨てて表示しております。)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
22年3月期第1四半期	13,219	△4.0	3,005	55.7	1,773	181.5
21年3月期第1四半期	13,771	—	1,929	—	629	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	83.67	—
21年3月期第1四半期	29.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
22年3月期第1四半期	1,554,724	102,866	6.4	4,770.13
21年3月期	1,454,095	99,471	6.6	4,578.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 100,545百万円 21年3月期 97,194百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期	26,100	△4.9	5,400	84.8	2,600	188.0	123.00
連結累計期間							
通期	52,500	△3.6	10,000	100.3	5,600	100.2	265.30

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 ― 社 (社名 ―) 除外 ― 社 (社名 ―)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	21,815,881株	21年3月期	21,815,881株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	737,749株	21年3月期	586,903株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	21,195,547株	21年3月期第1四半期	21,384,034株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

経常収益は、貸出金利息及び国債等債券売却益等の増加はあったものの、投資信託の販売が低迷したことを主因に役務取引等収益が減少したことから、前年同四半期連結累計期間比5億52百万円減少の132億19百万円となりました。

一方、経常費用は、与信関連費用及び株式等償却や国債等債券償却の減少等により、前年同四半期連結累計期間比16億28百万円減少の102億14百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期連結累計期間比10億75百万円増加の30億5百万円(第2四半期業績予想比55.6%)となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間比11億43百万円増加の17億73百万円(第2四半期業績予想比68.2%)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比1,006億円増加の1兆5,547億円、純資産は前連結会計年度末比33億円増加の1,028億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、引き続きキャンペーン等による増強に努めました結果、個人及び法人預金等が順調に増加したことから、銀行・信託勘定合わせ前連結会計年度末比978億円増加の1兆4,154億円となりました。

貸出金は、住宅ローン等を中心とした個人向け貸出が堅調に増加したものの、季節的要因により法人向け貸出が減少したことから、銀行・信託勘定合わせ、前連結会計年度末比124億円減少の1兆1,009億円となりました。

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に資金の効率的運用と安定収益の確保に努めました結果、前連結会計年度末比743億円増加の3,032億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

1株当たり当期純利益は、当第1四半期連結会計期間において、取締役会の決議に基づく自己株式の取得を行ったため、当該増加分を加味して算出しております。なお、その他の業績予想については、平成21年5月14日公表の数値から変更ありません。

4. その他**(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)**

該当事項なし

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成21年3月期の予想損失率を適用して計上しております。

②税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

①税金費用の処理

一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等負担率を乗じることにより算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項なし

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	33,066	33,395
コールローン及び買入手形	69,366	25,945
買入金銭債権	168	174
有価証券	303,243	228,847
貸出金	1,089,742	1,101,615
外国為替	1,895	2,499
リース債権及びリース投資資産	19,130	19,286
その他資産	18,326	19,887
有形固定資産	17,512	17,707
無形固定資産	1,706	1,809
繰延税金資産	4,459	6,346
支払承諾見返	11,697	11,675
貸倒引当金	△15,591	△15,094
資産の部合計	1,554,724	1,454,095
負債の部		
預金	1,393,288	1,294,675
借入金	13,980	14,425
外国為替	47	63
信託勘定借	11,021	11,171
その他負債	13,507	13,792
賞与引当金	170	678
退職給付引当金	5,772	5,690
役員退職慰労引当金	234	299
信託元本補填引当金	264	274
利息返還損失引当金	89	91
睡眠預金払戻損失引当金	85	85
繰延税金負債	0	0
再評価に係る繰延税金負債	1,697	1,697
支払承諾	11,697	11,675
負債の部合計	1,451,857	1,354,623
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	17,630	17,630
利益剰余金	58,567	57,430
自己株式	△2,666	△2,171
株主資本合計	96,256	95,614
その他有価証券評価差額金	3,322	574
繰延ヘッジ損益	△3	35
土地再評価差額金	969	970
評価・換算差額等合計	4,288	1,579
少数株主持分	2,321	2,276
純資産の部合計	102,866	99,471
負債及び純資産の部合計	1,554,724	1,454,095

(2)【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
経常収益	13,771	13,219
資金運用収益	8,265	8,403
(うち貸出金利息)	7,056	7,195
(うち有価証券利息配当金)	1,043	1,110
信託報酬	143	94
役務取引等収益	1,014	947
その他業務収益	4,064	3,562
その他経常収益	284	211
経常費用	11,842	10,214
資金調達費用	1,295	1,052
(うち預金利息)	1,146	953
役務取引等費用	341	354
その他業務費用	3,930	2,721
営業経費	5,083	5,171
その他経常費用	1,191	914
経常利益	1,929	3,005
特別利益	104	70
償却債権取立益	104	60
信託元本補填引当金戻入益	—	10
特別損失	265	3
固定資産処分損	2	3
減損損失	—	0
早期割増退職金	263	—
税金等調整前四半期純利益	1,769	3,072
法人税、住民税及び事業税	1,071	1,134
法人税等調整額	9	118
法人税等合計		1,252
少数株主利益	57	45
四半期純利益	629	1,773

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

【ご参考】

○四半期信託財産残高表

資産				
科目	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
貸出金	11,193	50.36	11,750	51.24
その他債権	11	0.05	10	0.05
銀行勘定貸	11,021	49.59	11,171	48.71
合計	22,227	100.00	22,932	100.00

負債				
科目	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
金銭信託	22,227	100.00	22,932	100.00
合計	22,227	100.00	22,932	100.00

平成22年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 平成22年3月期第1四半期損益の概況【単体】

当第1四半期の業務純益は、貸出金利息の増加や国債等債券関係損益が改善したことから前年同期比 611 百万円増加の 3,098 百万円（第2四半期業績予想比 64.5%）となりました。また、本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期比 43 百万円増加の 2,871 百万円（第2四半期業績予想比 53.1%）となりました。

経常利益は有価証券関係損益の改善及び不良債権処理額の減少などから前年同期比 859 百万円増加の 2,628 百万円（第2四半期業績予想比 53.6%）、四半期純利益は前年同期比 903 百万円増加の 1,586 百万円（第2四半期業績予想比 63.4%）となりました。

(単位:百万円)

科 目	平成22年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	対前年 同四半期比	平成21年3月期 第1四半期 (3ヶ月)	平成22年3月期 第2四半期業績予想 (6ヶ月)
業務粗利益 (除く国債等債券関係損益(5勘定戻))	7,895 (7,645)	690 (92)	7,205 (7,552)	
資金利益	7,151	230	6,921	
役務取引等利益	434	△130	564	
その他業務利益	309	589	△280	
経 費(除く臨時処理分)	4,774	49	4,724	
人件費	2,258	106	2,151	
物件費	2,083	△54	2,137	
税 金	431	△2	434	
業務純益(一般貸倒繰入・信託勘定償却等前)	3,121	640	2,480	
コア業務純益	2,871	43	2,827	5,400
一般貸倒引当金繰入	22	29	△6	
業務純益	3,098	611	2,487	4,800
うち 国債等債券関係損益(5勘定戻)	250	597	△347	
臨時損益	△470	247	△718	
うち 株式等関係損益(3勘定戻)	38	20	17	
うち 不良債権処理額	469 (469)	△368 (△368)	837 (837)	
個別貸倒引当金繰入額	463	△368	832	
信託元本補填引当金繰入	-	△5	5	
貸出金償却	0 (0)	0 (0)	- (-)	
債権売却損	4 (4)	4 (4)	- (-)	
経常利益	2,628	859	1,769	4,900
特別損益	41	247	△205	
うち 償却債権取立益	35	△24	59	
うち 信託元本補填引当金戻入益	10	10	-	
うち 早期割増退職金	-	△263	263	
税引前四半期純利益	2,670	1,106	1,563	
法人税、住民税及び事業税	855	14	841	
法人税等調整額	228	189	39	
四半期純利益	1,586	903	683	2,500

(注) 1. 不良債権処理額の()書きは信託勘定を含んでおります。

2. コア業務純益＝業務純益－一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益(5勘定戻)＋信託勘定貸出金償却＋信託勘定債権売却損

3. 不良債権処理総額は459百万円(信託込み)であります。

なお、不良債権処理総額のうち、信託元本補填引当金戻入益(10百万円)については、特別利益へ計上しております。

2. 預金等、貸出金の残高【単体】

当第1四半期末の預金等残高は、個人・法人預金等が順調に増加したことから前年同期比 1,155 億円増加の 1 兆 4,238 億円となりました。

(1) 預金等（末残）

	(単位：億円)
	平成 21 年 6 月末
預 金	14,238
うち 個人預金	8,905

(注) 信託勘定を含んでおります。

(参考)	(単位：億円)
	平成 20 年 6 月末
	平成 21 年 3 月末
	13,082
	13,256
	8,396
	8,652

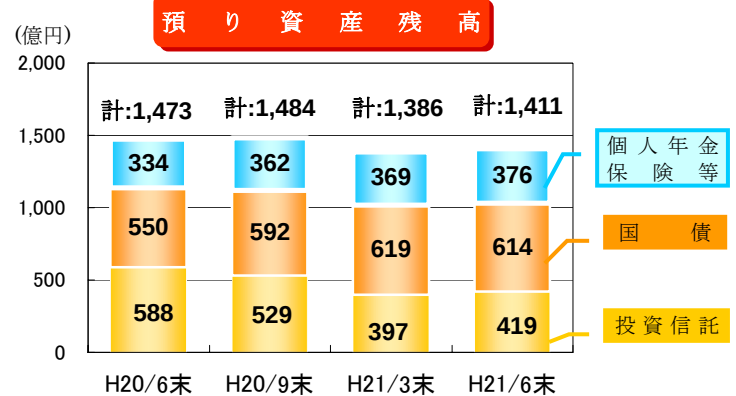
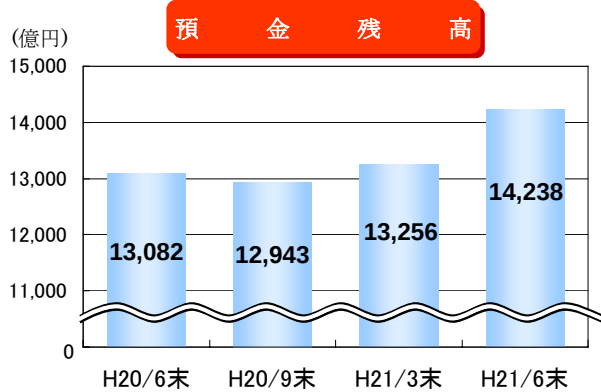
〔預金を除く預り資産残高〕

	(単位：億円)
	平成 21 年 6 月末
預り資産	1,411
国債	614
投資信託	419
個人年金保険等	376

(注) 1. 投資信託については、各月末の時価額にて表示しております。

2. 個人年金保険等については、販売累計額を表示しております。

(参考)	(単位：億円)
	平成 20 年 6 月末
	平成 21 年 3 月末
	1,473
	1,386
	550
	619
	588
	397
	334
	369



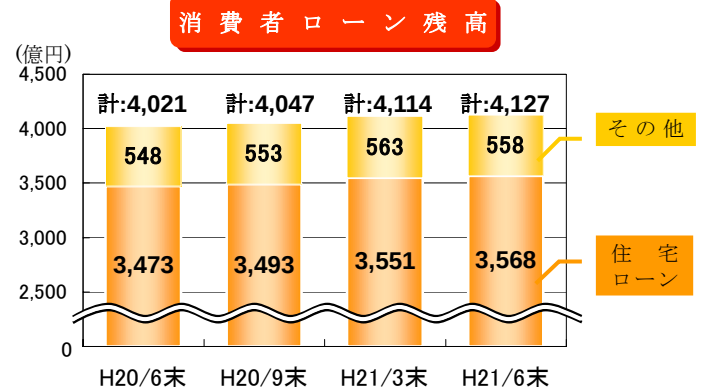
(2) 貸出金（末残）

当第1四半期末の貸出金残高は、前年同期比 435 億円増加の 1 兆 1,144 億円となりました。

	(単位：億円)
	平成 21 年 6 月末
貸 出 金	11,144
うち 消費者ローン	4,127
うち住宅ローン	3,568

(注) 信託勘定を含んでおります。

(参考)	(単位：億円)
	平成 20 年 6 月末
	平成 21 年 3 月末
	10,708
	11,264
	4,021
	4,114
	3,473
	3,551



3. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

当第1四半期末における金融再生法ベースの開示債権は、取引先の経営改善による債務者区分のランクアップに努める一方、不良債権の償却や回収を進めた結果、総額で前年同期比66億円減少の278億円となり、開示債権比率は0.72ポイント低下の2.46%となりました。

【単体】

(単位：億円)

	平成21年6月末	平成20年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	114	116
危険債権	130	122
要管理債権	33	107
合 計	278 (2.46%)	345 (3.18%)

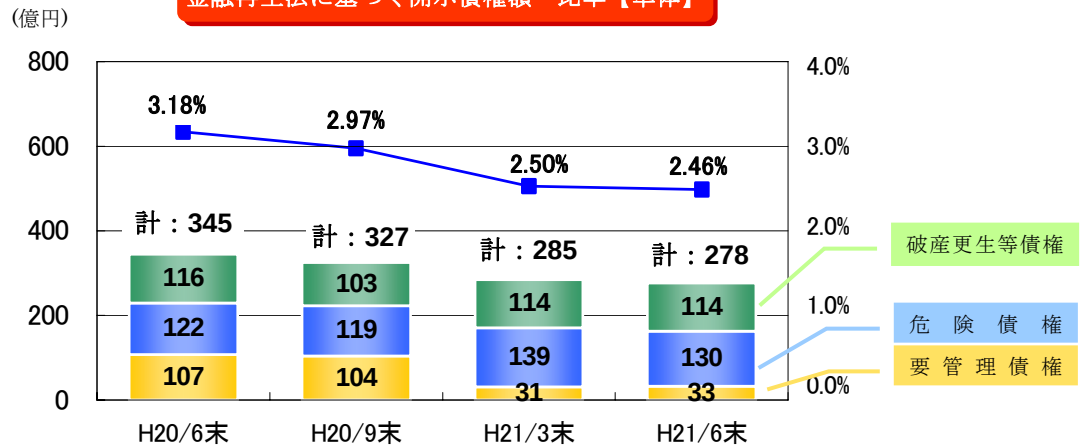
(参考)

(単位：億円)

	平成21年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	114
危険債権	139
要管理債権	31
合 計	285 (2.50%)

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



【連結】

(単位：億円)

	平成21年6月末	平成20年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	125	127
危険債権	132	124
要管理債権	33	107
合 計	291 (2.61%)	358 (3.34%)

(参考)

(単位：億円)

	平成21年3月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	125
危険債権	141
要管理債権	31
合 計	298 (2.65%)

(注) 信託勘定を含んでおります。

4. 自己資本比率（国内基準）

【単体】

	平成21年9月末(予想値)
単体自己資本比率	11% 台
単体Tier I 比率	10% 台

(参考)

平成21年3月末(実績)

単体自己資本比率	11.35 %
単体Tier I 比率	10.84 %

【連結】

	平成21年9月末(予想値)
連結自己資本比率	11% 台
連結Tier I 比率	11% 台

(参考)

平成21年3月末(実績)

連結自己資本比率	11.61 %
連結Tier I 比率	11.03 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

5. 時価のある有価証券の評価差額【連結】

○ 評価差額

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	平成 21 年 6 月末				平成 20 年 6 月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	2,771	55	87	32	2,351	17	82	64
株 式	223	17	38	20	286	63	74	11
債 券	2,451	39	48	8	1,897	△38	4	43
その他	95	△1	1	3	167	△6	4	10
うち 外国債券	57	0	1	0	43	0	0	0

平成 21 年 3 月末			
時価	評価差額		
		うち益	うち損
1,931	9	67	57
194	△10	32	42
1,629	22	32	10
107	△2	1	4
59	0	1	0

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。なお、時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	平成 21 年 6 月末				平成 20 年 6 月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	220	1	3	1	341	△0	2	2
債 券	170	3	3	0	261	2	2	0
その他(外国債券)	49	△1	-	1	79	△2	-	2

平成 21 年 3 月末			
帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損
316	△0	3	3
236	2	3	0
79	△3	-	3

